

# 令和元年度第1回青少年問題協議会 議事録

日時：令和元年8月27日（火） 19時～20時30分

場所：市役所 地下会議室A

出席者：委員16名（全員出席）

事務局3名（生涯学習課 木原課長・大森社会教育指導員・渡邊）

GW補助2名（戦略広報課シビックプライド推進室 大塚課長代理・宮坂主席主査）

議題：「ふるさと裾野を誇りと感じる子どもを育てるために」 ～地区子ども会の現状～

1 開会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 青少年問題協議会の役割

○条例をもとに協議会の役割を説明

○副会長2名を選出…事務局より山下仁様・古田多津彦様の2名を提案→承認

5 グループワーク（6人ずつ3グループ）

○子ども会を通じて、子どもの成長を促す行政の施策を協議

●事前に市内85区に子ども会に関するアンケートを実施。

その結果と現在の市と子ども会の関わりについて議論を展開した

テーマ1 ご自身の経験を踏まえて…子ども会活動を通じて育みたい

子どもの○○力 親の○○力

・コミュニケーション力・活力・思いやり力・探求力・リーダーシップ力・傾聴力・育てる力・協調力・敬う力・外で遊ぶ力・運動能力

テーマ2 市と子ども会の関わり

「どこに」「どのような」関わりを持つべきか

- ・子ども会に直接ではなく区経由で補助金を出す
- ・区を通して子ども会加入者を募る
- ・役員向け研修会等を開催する
- ・子どもとシニアをつなげる（老人会＝昔の子ども会員）
- ・区とのつながりがうまくいかない
- ・子ども会の役員が集まる会はない
- ・加入数と運営は別問題
- ・複数の単子合同で行う事業が補助金申請の要件であり、合同は難しい。企画する親は他地区とのつながりがうすい
- ・（市子連・5地区）ひとつ減るとなだれのように減る。減るとさらに役員の負担が大きくなる

6 閉会